



「海・街・山と人が融け合う元気なまち」新高松が誕生しました！

昨年9月26日に塩江町、1月10日に庵治・牟礼・香川・香南・国分寺の5町合併により、人口42万人の新生県都が誕生しました。去る2月15日には合併式典が開催されましたが、面積は旧高松の約2倍となり、今後各地域の特性を生かした新しいまちづくりの為に、市民の皆様のお声をしっかり伺いながら、取り組んで参りたいと思います。

2月17日代表で上京し、毎年恒例の公明党女性局主催の2006年度予算説明会に参加してきました。これは女性議員が政策実現力を高め、党勢拡大の原動力になるようにと、昨年同様全国と都市部とを二日に分けて、厚生労働省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、法務省、環境省から代表者を招き、一日かけての内容の濃い勉強会でした。私自身もまだまだ知らないことが多すぎてます。しかし、公明党は与党でもある為説明責任がありますので、政策等についてしっかり勉強しきちんと皆様にご説明できるように、これからもしっかり頑張ってまいります。



ネットワーク政党公明党 ～市から県へ～

前田東町の「前田小学校北」交差点にLED発光ダイオードの信号がつけました。

ここは、以前から感知信号はありましたが、高速道路の橋脚で反対車線からの車が見えにくく、また3斜線の坂道の為、手前の信号が見えず、先にある信号の方が目に入ってしまいうという状況で、ひと月に一回は事故があると言われるぐらい、事故多発場所でした。そんな中、日下党員さんから大山議員のもとに相談があり、ここは県道だという事で公明党のネットワーク

を生かし都築県議とともに、地域を巻き込んで署名運動をし、東警察署と市へ署名を届けました。その結果、今までなかなか動かなかった警察が動き、LED発光ダイオードの信号への取り換えと、先の信号との連動が実現しました。

こちら東山崎町の県道に押しボタン式信号がつけました。

近年、道路整備がすすみ、大型店舗進出による交通量の増加で事故も多く大変危険な場所となっていました。道路ができたことにより自治会も道路を挟む形となり、ゴミを1つ捨てに行くにも危険と不便さを感じていましたが、押しボタン式信号が取り付けられた事によって安全、便利になりました。





実現しました!!

自動体外式除細動器（AED）が高松市内の全中学校、高松第一高等学校、市役所、文化芸術ホール、総合体育館への設置が18年度予算に組み込まれ決定しました。

昨年の6月と12月の定例議会の一般質問で、心肺停止患者に電気ショックを与え、機能回復を図る救命医療機器AEDの使用が、以前は医療行為とされ、医師しか認められていませんでしたが、一昨年の7月から受講さえすれば、一般の人でも使用することができるようになったことを受けて、普通救命講習会でAEDの講習会を盛り込むこと、市役所、学校等の公共施設への設置を要望しておりました。私たちにも救える命があります！どうか皆さんも講習会を率先して受けていただきたいと思います。

またまた公明党のマニフェストの実現!!

《児童手当手当の拡充》

少子化対策の柱である児童手当の支給対象が今年の4月から、現在の「小学3年終了前まで」から「小学6年終了前まで」に拡大されます。所得制限も、夫婦と子供2人のサラリーマン世帯の場合で、年収780万円から860万円までに（自営業者は約596万円から約780万円に）緩和されます。これによって支給対象児童数は約1310万人になります。

《出産育児一時金の増額》

出産費用の負担を軽減する出産育児一時金が今年の10月から、現行の30万円から35万円にアップします。公明党の粘り強い取り組みで、実現いたします。

《不妊治療費の助成期間の延長》

不妊に悩む夫婦が安心して治療を受けられるように1回約30万円から35万円の治療費がかかる不妊治療費の助成が拡充されます。

医療保険が適用されない体外受精、顕微授精の助成期間が現行の「通算2年」から「通算5年」に延長され、年間10万円が支給されます。対象は夫婦合算の給与所得がベースで、650万円未満の夫婦になります。



法律無料相談の日

▼公明党県本部（815-2206）

4月12日（水）13時30分から

4月26日（水）13時30分から

5月10日（水）13時30分から

5月24日（水）13時30分から

▼高松市法律相談の日（839-2111）

毎週火曜日

（ただし、高松市民のみになっています）

※いずれも要予約ですので、ご一報下さい。

妊産婦にやさしい環境づくりのため、厚生労働省は妊産婦さんが身に着けたり、ポスターなどで掲示して妊産婦への配慮を呼び掛ける「マタニティマーク」のデザインを

決定しました。これは公明党の松あきら参院議員が、昨年3月の参院経済産業委員会と4月の行政監視委員会で、「妊婦バッジによって思いやりの心をはくくめる社会にすることが大事。是非国の統一規格をつくってもらいたい」と求めていたものです。

